

テーマ1 友達・人間関係

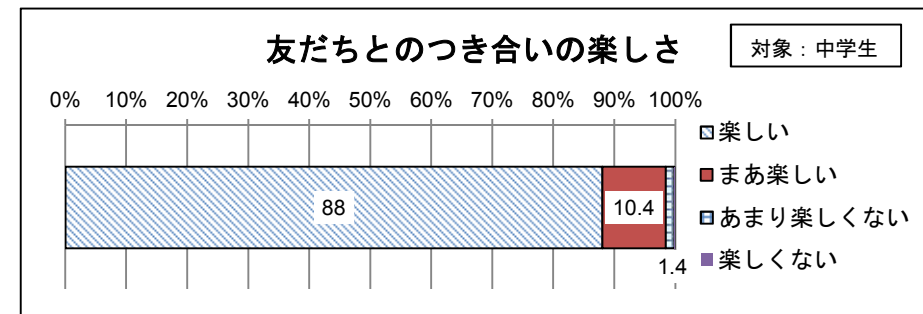
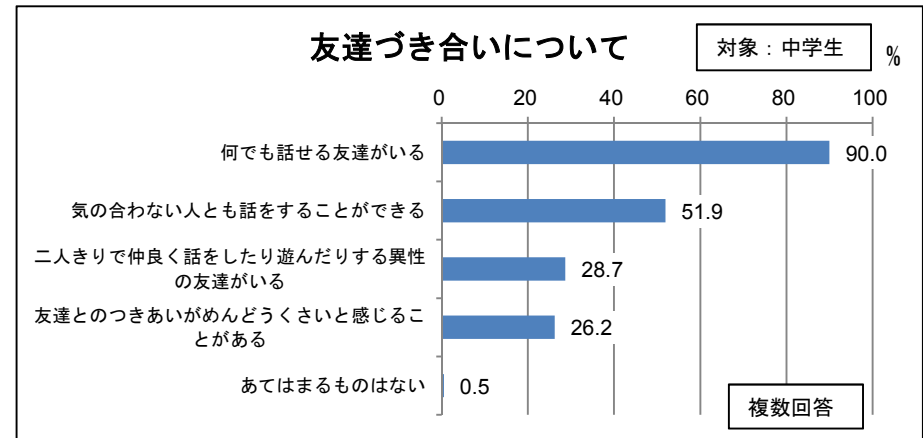
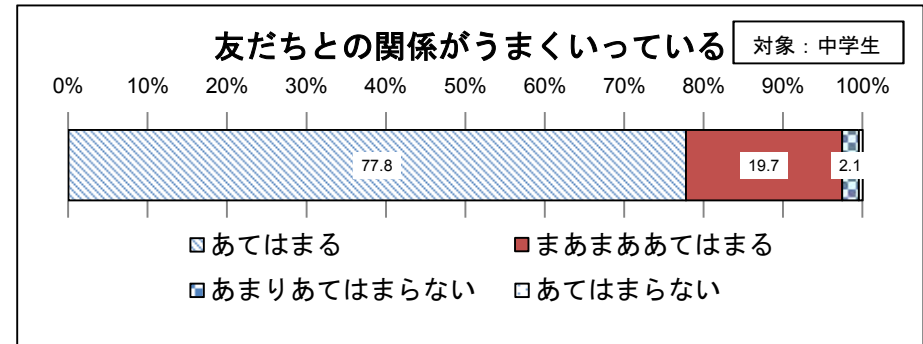
【ねらい】

- ◇親同士が新しい人間関係をつくる。
- ◇子どもの人との付き合い方について互いに情報を交換し合うことにより、我が子の人とのつきあい方がどのように変わってきているのかを見つめ直す。

【活動の流れと支援のポイント】

- ワークシートの始めの文を読み、中学校入学以来、友達関係が変わってきていること、そしてそれに伴って、親同士の新しい人間関係づくりも必要であることを確かめる。
- 4～5人のグループに分かれ、自己紹介をする。
 - 新しい親同士の関係がつかれるようにするために、グループ編成の時には下記のような工夫をし、知り合い同士のグループにならないようにする。
 - ・誕生日順、ジャンケンで3回勝った順などで一重円になり人数ごとに区切る。
 - ・トランプやくじ引きを利用し班を決定する。
 - 本音で語り合うために、語り合いの中に出てきた情報については、他言しないことを確認する。
 - 簡単な名札や席札をつくり、同じグループになった人の名前を覚えやすいようにする。
- 我が子の育ちをふりかえるために、小学校期の人との付き合い方の特徴を思い出し、ワークシート1の(1)に記入する。(この間については、発表し合わない)
 - ありのままの我が子を見つめていくことが大切であることを伝える。
- ワークシート1の(2)を読み、子どもたちの友達関係や人間関係についてどのようなことが見られるかを伝え合い、現状をつかむ。
 - 例文を何人かに協力いただき、登場人物になりきって読んでいただく。
 - 話し合いに入る前に、子どもの現状を見つめ合うことが目的であることを確認し、よい部分も心配な部分も出し合うよう働きかける。
- 現在の我が子の人との付き合い方について考え、ワークシート1の(3)に記入する。
 - 記入後、右の資料を提示または配布し、親と子の意識にズレがある可能性をおさえる。
- 友達との付き合い方について自分が気がかりなことを出し合う。出されたことについて、見聞きしていることがあれば伝える。
 - 子どもは場面によって見せる姿が違うことがある。親が見たり気づいたりしていない子どもの姿などがあれば積極的に伝え合うよう促す。また、そういったことが今後でもできる親の関係づくりをしていくことが大切であることを伝える。
- グループ内で、もう一度お互いの名前を確かめ合い、話し合いを終了する。

【参考資料】



【平成25年度 中学生の意識に関する調査（内閣府）】